

会 議 録

名 称	平成 27 年度 第 1 回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会		
日 時	平成 27 年 8 月 31 日(月) 午後 2 時～午後 3 時 30 分	会 場	市役所 本庁 3 階 合同委員会室
出席者 (欠席者)	<p>【策定・評価委員】※敬称略 [出席委員(18名)] 池永 輝之、山田 武司、五十嵐 和夫、村田 務、脇淵 竜舟、和田 育穂、藤田 豊、岡本 敏美、名和 哲彦、山岡 泰利、山田 明子、高橋 和子、水野 靖弘、赤尾 春江、西田 松代、西松 浩、平田 利男、川瀬 信子</p> <p>[欠席委員(4名)] 白井 貴大、早野 正雄、安田 典子、成瀬 重雄</p> <p>【事務局】 (福祉部) 中山部長、(社会福祉課) 三浦課長、兒玉主幹、高野主事、 (高齢介護課) 篠田課長 (子育て支援部) 安田部長、 (子育て支援課) 川合課長、(子育て総合支援センター) 鈴木所長、 (大垣市社会福祉協議会) 早崎事務局長、三輪課長</p>		
傍聴者数	0 人	記録方式	要約
<p><社会福祉課長></p> <p>定刻となりましたので、ただいまから「平成 27 年度 第 1 回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市社会福祉課長の三浦でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、大垣市福祉部長の中山がご挨拶を申し上げます。</p> <p><福祉部長></p> <p>本日は、ご多用のところ、本委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆さまにおかれましては、日頃から市政全般特に福祉行政にいろいろとお世話になっており、ありがとうございます。</p> <p>ご承知のとおり、地域福祉計画は、本市の地域福祉を総合的に推進するうえで柱となる計画でございます。現在は第三次の地域福祉計画に基づき、さまざまな事業に取り組んでおるところでございます。</p> <p>本日の委員会は、26 年度に取り組んだ事業実績と、27 年度に予定している事業計画について、ご審議を賜るものでございます。</p>			

委員の皆様におかれましては、地域福祉全般について忌憚のないご意見をいただきますようお願いしまして、あいさつと代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

<社会福祉課長>

議事に入ります前に、本日の委員の出席状況につきましてご報告させていただきます。委員定数 22 人中、本日の出席委員は 18 人でございます。

委員会設置要綱第 6 条第 3 項の規定に基づき、出席委員が過半数を満たしていますので、本委員会が成立しておりますことをご報告させていただきます。次に、代表者の変更及び市民公募により、今回から新たに 4 名の方に委員としてご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。お時間の都合上、お名前のみのご紹介とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

はじめに、大垣民間保育園連合会会長の脇淵竜舟さまでございます。次に大垣 P T A 連合会代表の藤田豊さまでございます。次に大垣市青年のつどい協議会会長の水野靖弘さまでございます。次に岐阜県西濃保健所健康増進課長の西松浩さまでございます。以上でございます。

なお、その他の委員の皆様につきましては、お手元に配布してございます委員名簿をもってご紹介に代えさせていただきますので、ご了承願います。

それでは、委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定に基づき、議長は委員長をもって充てることになっておりますので、池永委員長様に、ごあいさつのあと、議事進行をお願いしたいと存じます。池永委員長様、よろしく願いいたします。

<委員長>

本日の委員会では、26 年度の事業実績及び 27 年度の事業計画の審議を行い、これからの成果と課題を明らかにし、次年度に繋げていくのがその役割であろうと思います。委員の皆さまには忌憚のないご意見を賜りながら、地域福祉計画をより一層充実したものにさせていただきたいと存じます。

それでは議事に入らせていただきます。第 1 号議案「大垣市第三次地域福祉計画の事業実績及び事業計画について」のご審議をお願いいたします。本議案について、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局（兒玉主幹）>

※資料に基づき説明

<委員長>

ありがとうございました。ただいま御説明いただきました、第1号議案について御意見、御質問等を賜りたいと思います。どうぞ、御発言をお願いいたします。

<名和委員>

地域を代表して委員をさせていただいておりますが、連合自治会長や各自治会長は、自治会の加入率100%を目指しておるわけですが、現在は会社のマンションに入居している方の加入率が少ないように思います。マンションやアパートなどについては、宅建と契約して加入を促すなどの方策により加入率を高めてもらえるとありがたいと思います。

26年度と27年度の進捗状況を見ると「充実」が少なく「継続」の事業がほとんどでありますから、どうすれば「充実」の事業が多くなるかについて、事務局としてご努力いただきたいと思います。

そして、事業No.48の社会福祉協議会への支援についてですが、実績から計画では191万円の減額となっておりますが、社協との協働事項が多くなった側面がありますので、人件費相当分についてむしろ今後アップすることも考慮いただけるとありがたいと思います。

<委員長>

ありがとうございました。事務局で何かお答え願えますでしょうか。

<社会福祉課長>

最初に、自治会の加入率でございますが、担当課では、集合住宅が出来たときには業者等に自治会加入のチラシを配布してもらったりしているところでございます。そういった形で少しでも加入率が上がるよう努力している旨を聞いております。

また、計画の進捗状況のところ「継続」の事業が多いというご指摘ですが、その通りであると思います。少しでも「充実」になるよう今後も取り組んでまいりたいと思います。

最後に、社会福祉協議会の人件費でございますが、これは地域福祉推進施策の実現を図るた

めに、社会福祉協議会の職員の人件費相当額を補助するというものです。財政状況の厳しい中で、そういったご指摘があったことを財政サイドにも伝えさせていただきたいと存じます。

<委員長>

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

<山岡委員>

事業No.47の「岐阜経済大学との連携」ですが、これについてはもう少し力を入れていただきたいと思います。今まで社会福祉士の資格を取って社会福祉協議会の職員になってもらえたのは一人だけいらっしゃるが、その方はとても熱心にやっていたらっしゃいました。こういった方が増えるようになればと思います。

<委員長>

経大の社会福祉士の養成をもう少し頑張ってもらいたいというご意見がありました。

<山田(武)委員>

これまでは福祉の学科があったのですが、それが公共政策学科の福祉コースに変わったということもありまして、そういった面では福祉専攻の学生がなかなか十分に増えないという点があります。今年からコミュニティソーシャルワーカーの養成を打ち出しておりますので、社協さんとの社会福祉士の養成については、今後ともご協力を賜りながら地域福祉に関わる学生を養成していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

質問よろしいでしょうか。事業No.22の「発達支援連絡会議の開催」ですが、26年度の計画では10回の開催予定であったのが実績では7回となっておりますが、これは何か理由があるのでしょうか。もう一つは、事業No.35の「災害時要援護者個別支援計画の策定」ですが、実績のところでは計画策定者数が3,828名となっており、他方事業No.4の災害時要援護者台帳の登録者数は4,191名となっておりますが、この人数の違いは何か理由があるのでしょうか。

<社会福祉課長>

まず、発達支援の会議数についてですが、発達支援についての理解が深まっていることもあ

り、会議数を減少させたと聞いております。

次に、災害時要援護者台帳の登録者数と個別計画の策定者数の違いですが、個別計画は同意のある方を対象に策定しております。また、高齢の方も多く、亡くなられた方もいらっしゃるため、少なくなっているものでございます。

<委員長>

他にいかがでしょうか。

<岡本委員>

まず、事業No.27の「障がい者のコミュニケーション支援の充実」ですが、手話通訳者や要約筆記者などの派遣を行っていただいているわけですが、No.28の「外国人市民のコミュニケーション支援の充実」で同じようなことをやられるわけですが、市民病院で外国語通訳者の配置を行っておるわけですが、市民病院でも通訳ができる方を配置していただければと思います。この策定・評価委員会から意見が出たということ伝えていただきたいと思います。

それと子育てサロンについてですが、本市は子育て日本一ということ掲げて色々な施策をやっていただいておりますが、サロン開催が14か所から13か所に減っているのですが、これはいかななものかと思えます。地区センターも18か所ありますし、やはりこちらから出向いていくこともしていかないと、どこにいても安心できる環境というのはできないと思えます。

<社会福祉課長>

市民病院への手話通訳者の配置の件でございますが、来年度から障害者差別解消法が施行されることもありますので、私の方からも市民病院には委員会からご意見があった旨を申し伝えさせていただきます。

<子育て総合支援センター所長>

子育て総合支援センター所長の鈴木と申します。子育てサロンの数が1か所減ったという点でございますが、これまで墨俣地区におきましては、墨俣老人福祉センターの和室お借りしまして毎週1回火曜日の午前中に開催させていただいております。墨俣地域の現状を見ますと、隣には児童館、保育園があり、その保育園の中に地域子育て支援センターを設けておりまして、

そこは毎日無料で通っていただける施設となっております。その隣には墨俣保健センターや、さくら会館がございます。そして、墨俣の文化会館が本年3月になくなるという環境の変化がございます。老人福祉センターの使用の増加が見込まれることから、1か所減らさせていただいたということがございます。

<岡本委員>

今お聞きしたのは、あくまで行政サイドの都合ですよね。地域住民の立場に立ったサービスなりを検討していかないと、子育て日本一も達成できないと思います。住民の側の視点に立ったサービスをお願いしたいと思います。

<委員長>

他にいかがでしょうか。

<山岡委員>

1 ページの事業No.3 のまちづくり推進課の「自治会への加入促進」ですが、実績のところでは78.35%とありますが、この数字はいかんせん低いと思われまます。新しい住宅が出来たときに一軒一軒伺ったところ全員に加入してもらえたことがあります。チラシを配るだけではなく、それぐらいやらないと加入率は上がらないと思います。

<名和委員>

自治会の加入率で言いますと、例えば兵庫県の加古川市は92%でありまして、大垣市でもできる限り100%に近づくように努力する必要があると思います。地域と行政が一体となって努力していく方法を示していただけるとありがたいと思います。

<社会福祉課長>

自治会の加入率の促進についてご意見を賜りましたが、全くその通りだと思っております。地域の自治活動や福祉活動の活性化、障がい者や高齢者の孤立死の防止、災害時の避難支援などで大きな役割を果たすため、是非取り組む必要があると思いますので、担当課にも伝えたいと思います。

<高橋委員>

事業No.35の社会福祉課の「災害時要援護者個別支援計画の策定」ですが、在宅介護を受けていて要介護が5といった方をどういう風に避難支援していけばいいかという心配があります。ご自分で動けない、避難所まで避難できない方をどういう風に声をかけて、どうやって援護すればいいかについて今悩んでおります。あとは、愛の一声や見守りネットワークなどの社協の事業がございしますが、高齢独居の方が振り込め詐欺の被害に遭わないために、電話にナンバーディスプレイを設置する費用を助成するなどの試みがあったらよいと思いました。

<委員長>

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

<村田委員>

要援護者に関しては特養と老健が福祉避難所に指定されておりますが、大垣市の福祉避難所は私の施設から締結が始まりまして、作ったのはいいものの連携や会議がないので、実際にどのように開設、運営をしていくのかについて議論をする場を行政で提供してもらえれば、充実したものになっていくと思います。

私どもは介護サービス事業者連絡会の代表ということで、高齢者をメインに考えるわけですが、地域包括ケアシステムの流れの中で自助と互助がどんどん進んでおります。現在、声かけや見守りなどの事業を行っていらっしゃると思いますが、そういう互助が進まないといけないと思います。生活支援というのは買い物やちょっとしたゴミ出しが必要になってくるのですが、声かけや見守りをもう少し踏み越えたところまで求められると思います。大垣市にはそういった素地はあると思いますので、介護サービス事業者連絡会などの団体に要望していただいても結構ですので、内容を考えていただければと思います。

<西田委員>

今年の夏休みにボランティアの朗読劇で留守家庭学級に伺ったのですが、夏休みで子どもたちが多かったせいもあるかと思いますが2人の先生で22,3人の生徒を担当していらっしゃる、限られた教室で一生懸命にやってらっしゃいました。できるだけ広いスペースを支援して

もらえるとありがたいと思いました。

また、ボランティア連絡協議会の10周年事業として、岐阜経済大学の学生とボランティア学習を一緒にやらせていただきたいので、山田先生どうぞよろしくお願いいたします。

<山田(武)委員>

どうぞよろしくお願いいたします。

<社会福祉協議会 事務局長>

この懇談会は、各地区は1回ずつ開催いたしました。ただ、地区社協というのは懇談会というより三者研修会や理事・評議員会研修というものでありまして、これ以外に3か月に1回はネットワーク委員会を開催しています。各団体の代表の方々が参加されていますので、理事が20名ほど、評議員会の方が40名ほどで、全体で60名ほどの地区の代表の方が参加されることになります。ただ、地区によっては全自治会から評議員を選出するところもありますので、150人を超える方が集まって計画作りなどをされます。各地区の実情に応じて差異はありますが、私どもが直接懇談会に出席させていただきますのでそれぞれの地区で年6回は開催される状況かと思えます。

<委員長>

では1点お聞きしてよろしいでしょうか。事業No.20の「障がい者の就労相談支援」ですが、障がいを持たれている方が希望通り就労の機会を得た方はどれくらいいらっしゃるのですか。

<社会福祉課長>

26年度の実績ですが、一般就労が10人、福祉就労が17人の方がいらっしゃいました。

<委員長>

機関相互の話し合いといいますか、行政と企業側との話し合いの機会はあるのでしょうか。

<社会福祉課長>

障がい者の就労支援については、市から社会福祉協議会へ障がい者就労支援センターに委託

をさせていただいておるわけですが、その中で障がい者の就労支援セミナーを開催しております。保護者や学校など対象者を分けておりまして、企業の方にも聴いていただくようにいたしております。

<委員長>

ありがとうございました。

<平田委員>

今の件に関連して事業No.31「日常生活自立支援事業の実施」というところで、障がい者であるのは精神的に不安定な方も含むのですか。若い方で精神的に不安定な方がいらっしゃいますので。

<社会福祉課長>

就労については若い方も対象にいたしております。

<平田委員>

現在こういった方を対象にした企業や事業所がありますが、事業所に紹介して行っているのですか。

<社会福祉課長>

就労継続支援のA型やB型のところに就職されているということです。

<委員長>

他にいかがでしょうか。

<脇淵委員>

保育園を代表して3点ほどございます。初めて今回の会議参加させていただいたのですが、基本的に全部の事業が継続ですよね。人やお金といった資源を本当に選択と集中により使われているのかという点です。

大垣市は子育て日本一を掲げているわけですが、具体的にどういったことを日本一に結び付けているのかですね。子育て日本一を掲げるのですから、何かしら事業として特色があった方がいいのではと思います。

最後は地域防災についてです。自主防災組織や災害ボランティアの育成を行うなどの施策がありますが、いざ災害が発生したときには消防団の方に活躍してもらうことになろうかと思いますが、消防団の関係の項目があるべきではと思います。

<社会福祉課長>

計画の中で選択と集中が行われているのかという点ですが、毎年各課において各事業の有様については評価をしてもらっておりますので見直しがなされていると思っております。

<社会福祉協議会 事務局長>

防災の関係では、社会福祉協議会で市内 20 地区と連携を図って組織化を行っております。もちろん、今年 3 年目になりますが各地区の推薦の下、防災士の資格を取っていただき養成を行っているところでございます。防災士の協議会の中では防災士だけでなく、消防団の方も必ず入っていただいておりますし、婦人消防団員の方も入っていただいております。市社協で防災部会に参加いただくという計画で進んでおりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

<子育て支援課長>

子育て支援課長の川合と申します。先ほどの御質問ですが、大垣市第二次子育て支援計画を策定いたしております。例えば医療費の無料化もその中の一つと考えておりますし、保育料の軽減などについては、他市と比較して最高水準を目指してやっているところでございますので、ご理解いただきたいと存じます。

<名和委員>

消防団は専門職であって、地域での防災は市や社協の指導の下で行うことになるかと思えます。あとは防災士会が各地区に出来ましたので、その委員会に消防団の団員が入るということは市の生活安全課や社協の指導で行うことになろうかと思えます。

<委員長>

他にいかがでしょうか。

《発言なし》

<委員長>

それでは、ご発言も尽きたようでございますので、第1号議案「大垣市第三次地域福祉計画の事業実績及び事業計画について」の承認をいただきたいと思います。よろしゅうございましょうか。

《「異議なし」の声あり》

<委員長>

では、第1号議案は原案とおり承認させていただきます。以上をもちまして本日予定しておりました議事は全て終了いたしますが、その他、何か御発言等はございますか。

よろしゅうございますか。委員の皆さまには円滑な議事進行に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。それでは、事務局へお返しします。

<社会福祉課長>

池永委員長様、ありがとうございました。

また、委員の皆様には、長時間にわたり、慎重なご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日、頂戴いたしました貴重なご意見等は、今後の第三次地域福祉計画の進行管理に活かしてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、「平成27年度 第1回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を閉会させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。